

防災都市

<プロジェクトの目標>

いざという時にも自分の身を守り
互いに助け合うことで
**災害に強く、安心・安全
に暮らせるまちづくりの推進**



<成果目標>

「災害に強く、安心・安全に人が暮らせるまち」と
思っている市民の割合(市民意識調査)

そう思う 57%(H26) → **75%(H34)**【50%(H29)】

「防災への取り組み」に満足している市民の割合
(市民意識調査)

満足している 39%(H26) → **70%(H34)**【35%(H29)】

①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

総務局、企画局、経済局、都市局、建設局、消防局、
上下水道局、教育局

実現すべき将来像

○従来の施策の充実・強化や甚大な津波想定への対応など、新たな課題に対する対策

平成29年度の主な事業の評価と検証

- 津波避難施設整備では、津波避難場所のない地域の解消として、津波避難タワー2基が完成するとともに、漁港施設機能強化事業として、用宗漁港と由比漁港の耐震補強を完了した。
- 住宅・公共施設(橋りょう含む)等の耐震化率が向上した。
- 下水道施設津波対策事業では、長田浄化センター等の耐津波診断を実施し、対象17施設中、7施設の耐津波診断が完了した。
- 消防力の充実・強化では、港北消防署庁舎移転が完了し、消防団員確保対策事業として、広報活動(カラーガード隊出演、市消防団公式Facebook活用)、制度の周知(大学及び商工会議所への説明会)等を実施した。
- 緊急輸送路等の整備では、災害発生時の救命救急や物資輸送に資する道路改良を実施し、(主)山脇大谷線を一部供用開始した。

平成30年度の主な事業

津波避難施設の整備	公共施設等の耐震化	消防力の充実・強化
 津波避難ビル事業費助成 (総務局)【40,000千円】	 建物の耐震化等助成事業 (都市局)【151,570千円】	 消防団員確保対策事業 (消防局)【2,459千円】
 海岸保全施設整備事業 (経済局)【153,400千円】	 橋りょう耐震化事業 (建設局)【622,480千円】	 緊急輸送路整備 (主)清水富士宮線ほか (建設局)【2,150,400千円】

平成31年度の取組

- 必要な時に自動起動し屋内において防災情報などの受信が可能な「緊急情報防災ラジオ」の再販売を実施し、情報伝達手段の多様化を図る。
- 津波避難施設整備では、津波避難ビル事業費助成により津波避難が困難な地域の解消に努める。海岸保全施設整備では、用宗漁港海岸保全施設(胸壁)整備の早期完了を目指す。自助・共助の取組を強化するため、自主防災組織に対し支援を継続する。
- 公共施設等の耐震化では、住宅、建築物等の耐震補強を行う申請者に対して補助金を助成することにより、耐震化を促進する。また静岡市橋りょう長寿命化計画(仮称)に基づき、橋りょうの耐震化を実施する。
- 消防力の充実・強化では、カラーガード隊等の広報活動により女性や学生を中心とした若者の消防団入団を促進するとともに、新たな団員確保対策として機能別団員制度の導入に向けた調整を行い、地域防災力の充実・強化を図る。
- 緊急輸送路等の整備では、(主)山脇大谷線、(主)井川湖御幸線、(主)清水富士宮線等の整備を推進することで防災機能の強化を図る。
- 下水道施設津波対策では、浄化センター・ポンプ場の耐震・耐津波対策基本設計を行う。

情報伝達手段の多様化	公共施設等の耐震化	消防力の充実・強化
 緊急情報防災ラジオ普及促進事業 (総務局)【81,000千円】	 建物の耐震化事業費助成 (都市局)【268,838千円】	 消防団員確保対策事業 (消防局)【2,459千円】
 津波避難施設の整備 海岸保全施設整備事業 (経済局)【103,388千円】	 橋りょう耐震化事業 (建設局)【835,840千円】	 緊急輸送路整備 (主)清水富士宮線ほか (建設局)【1,605,000千円】

② 浸水・土砂災害対策の拡充等

総務局、都市局、建設局、上下水道局

実現すべき将来像

○国・県と連携し、重点整備（選択）による浸水・土砂災害対策を推進し、市民の生命を守り、安心して暮らせる防災体制づくりを確立

平成29年度の主な事業の評価と検証

○浸水対策では、静岡市浸水対策推進プランに基づき、(二)浜川及び(普)谷津沢川等の河川改修や、高橋雨水ポンプ場、広野地区雨水幹線等の下水道施設整備を着実に実施した。
○浸水対策地区41地区のうち、36地区で工事に着手し、そのうち21地区が完了しているが、一部の地区で遅延が生じている。
○内水ハザードマップ（清水南部地区）を対象エリア10,200世帯に作成・配布した。
○安倍川洪水ハザードマップを18万部、富士川洪水ハザードマップを4千部を作成・配布し、静岡市初となる洪水避難訓練を実施した。
○公園の土砂災害等防止対策事業では、八幡山公園の施設整備工事予定箇所6箇所のうち、1箇所を整備を行い、計3箇所の整備が完了したが、残りの箇所では地元調整に時間を要し遅延が生じている。

平成30年度の主な事業

浸水対策



河川改修・下水道施設整備 (建設局)【136,000千円】
上下水道局【3,880,911千円】
巴川洪水ハザードマップ作成事業(総務局)【7,515千円】

土砂災害対策



急傾斜地崩壊対策事業 (建設局)【18,000千円】
土砂災害等防止対策事業(公園) (都市局)【127,000千円】

平成31年度の取組

○浸水対策では、引き続き(二)浜川、(普)和田川及び(普)谷津沢川の河川改修や、高橋雨水ポンプ場、広野地区の雨水幹線等の下水道施設整備を実施し、浸水被害の軽減を図る。
○内水ハザードマップは、服織・井宮地区と蒲原・由比地区を作成・配布し、対象区域である市街化区域全域が完了する。
○丸子川、興津川、庵原川、山切川に対応した「洪水ハザードマップ」を作成・配布し、浸水想定及び指定緊急避難場所などの防災情報を示すことで、洪水災害に伴う人的・物的被害の軽減を図る。
○引き続き関係局とハザードマップの記載内容を調整し、理解度向上のPR活動を進める。
○土砂災害対策では、急傾斜地崩壊対策事業を促進するため、県と連携し、早期に事業化されるよう働きかけを行うとともに、助成制度を多くの市民の皆さんに活用していただける様に、制度内容を広める。
また、公園の土砂災害等防止対策事業では、平成31年度も引き続き八幡山公園及び西ノ谷公園において、地元調整を行い、施設整備工事を実施する。

浸水対策



河川改修・下水道施設整備 (建設局)【81,000千円】
上下水道局【4,534,285千円】
洪水ハザードマップ作成事業 (総務局)【13,040千円】

土砂災害対策



急傾斜地崩壊対策事業 (建設局)【20,000千円】
土砂災害等防止対策事業(公園) (都市局)【212,100千円】

③ 再生可能エネルギーの導入・普及促進

企画局、総務局、環境局、経済局

実現すべき将来像

○豊かな地域資源を活用した再生可能エネルギーの普及
○次世代のエネルギーとして期待される「水素」を活用したまちづくり
○官民連携による清水港LNG基地を活用したエネルギー関連産業立地促進

平成29年度の主な事業の評価と検証

○産学官の取組の指針となる「静岡市水素エネルギー利活用促進ビジョン」及び「静岡市水素エネルギー利活用促進アクションプラン」を策定した。
○水素エネルギーに対し市民・事業者の関心を高めるため、燃料電池自動車を購入し、公用車として運行するとともに、防災訓練での活用や各種イベントへの展示を通じ、広く市民への普及に取り組んだ。
○地球温暖化対策啓発事業では、再生可能エネルギーパークとして整備した「風電君」などの施設と市内の観光施設を組合せ幅広い年代層への啓発を行うことができた。

平成30年度の主な事業

静岡型水素タウン構想に向けた取組

対象機器例



燃料電池自動車
写真提供:トヨタ自動車



静岡型水素タウン促進事業 (環境局)【8,188千円】

家庭用燃料電池
写真提供:パナソニック

静岡型水素タウン促進事業費
助成(環境局)【12,000千円】

再生可能エネルギーの導入・普及促進



地球温暖化対策
普及啓発事業
(環境局)【11,200千円】

平成31年度の取組

○水素エネルギーを活用した新たな技術の開発等、静岡市水素エネルギー利活用促進ビジョンの推進に資する事業に補助金を交付し、静岡発の新たな技術の水平展開を図りSDGs未来都市で掲げる「経済」、「社会」、「環境」の三側面の相乗効果を創出し、静岡型水素タウンの促進を図る。
○中山間地域への再生可能エネルギー導入に向け、地域住民、NPO、エネルギー事業者等との勉強会の実施など、地域の特色を活かした再生可能エネルギーの導入に向けた取組みを進める。

静岡型水素タウン構想に向けた取組

対象機器例



燃料電池自動車
写真提供:トヨタ自動車



静岡型水素タウン促進事業 (環境局)【15,138千円】

家庭用燃料電池
写真提供:パナソニック

静岡型水素タウン促進事業費
助成(環境局)【8,800千円】

再生可能エネルギーの導入・普及促進



地球温暖化対策
普及啓発事業
(環境局)【11,228千円】

3次総 重点プロジェクトの主な事業 一覧表

5 防災都市	様々な危機に備えた減災力が高い安心・安全なまちづくりの推進
5-①	災害対応力の強化と危機管理体制の確立

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成31年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
津波避難施設の整備									
1	総務局	危機管理課	継続	津波避難誘導設備設置事業	ソフト	2,985			47
2	総務局	危機管理課	継続	津波避難施設整備事業	ハード	84,400		176	47
3	経済局	水産漁港課	新規	由比漁港津波避難施設整備事業	ハード	5,400		177	100
公共施設等の耐震化									
4	都市局	建築指導課	継続	要緊急安全確認大規模建築物耐震事業費助成	ハード	75,641		178	109
5	都市局	建築指導課	拡充	建物の耐震化事業費助成	ハード ソフト	268,838		179	109
6	都市局	建築指導課	拡充	ブロック塀等耐震改修事業費助成	ハード	23,225		180	108
7	建設局	道路保全課	継続	橋りょう整備事業(道路橋の耐震補強及び老朽化対策)	ハード	2,614,100		181	114
8	建設局	河川課	継続	河川構造物耐震・津波対策事業	ハード	90,000		182	113
消防力の充実強化									
9	消防局	警防課	継続	消防団員確保対策事業	ソフト	2,459		183	117
10	消防局	財産管理課	継続	常備消防装備整備事業	ハード	302,601			116
11	消防局	財産管理課	継続	非常備消防装備整備事業	ハード	125,599			116
12	消防局	財産管理課	継続	消防団施設整備事業	ハード	172,088		184	116
防災・減災のための情報発信									
13	総務局	危機管理課	拡充	★防災マップ、洪水ハザードマップ作成事業	ソフト	22,340		185	47
14	総務局	危機管理課	新規	緊急情報防災ラジオ普及促進事業	ソフト	81,000		186	47
15	総務局	危機管理課	新規	防災情報共有システム整備事業(債務負担行為)	ソフト			187	-
緊急輸送路等の整備									
16	建設局	道路計画課	継続	★港湾、ICアクセス道路整備事業((主)井川湖御幸線ほか4路線)	ハード	1,606,000		122 123	113
17	建設局	道路計画課	継続	★国道1号静岡バイパス整備促進事業	ハード	2,115,000		122 123	113
18	建設局	道路計画課	継続	★地域高規格道路(静岡南北道路)調査検討事業	ソフト	6,900		122 123	113

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成31年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
19	都市局	建築指導課	継続	狭あい道路拡幅整備事業	ハード	87,159		188	108
20	建設局	道路保全課	継続	道路自然災害防除事業(道路トンネル補修及び法 面対策事業)	ハード	989,860		189	114
21	建設局	道路保全課	継続	交通安全施設整備事業(無電柱化事業)	ハード	24,000			114
その他									
22	総務局	危機管理課	継続	感震ブレーカー設置費助成	ソフト	20,000			47
23	上下水道局	下水道施設課	継続	下水道施設津波対策事業	ソフト	128,333			154
計						8,847,928			

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成30年度当初予算額 6,147,244

5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

津波避難施設整備事業

総務局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (2/3、1/18)	市債	その他	
当初予算額	84,400	60,954	21,100		2,346
前年度予算額					

目的	津波の襲来から市民の生命を守るため、緊急避難場所を確保する。
----	--------------------------------



事業概要	<p>津波避難タワーの建設 事業期間：平成31(2019)～平成32(2020)年度 建設場所：駿河区西島 完成時期：平成32(2020)年8月予定 収容人数：540人</p>
------	--

【整備状況】

年度	エリア名	種類	建設地(予定地含む)	浸水深→基準水位
1				
2				
3	H25 完成		駿河区西島地内(大浜公園内)	1.8m → 2.6m
4			駿河区下島地内(塩田公園内)	0.1m → 0.1m
5			清水区三保地内(ふれあい広場内)	2.3m → 2.3m
6	H26 完成		清水区三保地内(ふれあい広場内)	2.1m → 2.2m
7			清水区宮加三地内(宮加三公園内)	3.1m → 3.2m
8			清水区三保地内(紅産業社有地)	2.5m → 2.6m
9	H27 完成		駿河区用宗一丁目地内(汐入公園内)	1.0m → 1.6m
10			清水区三保地内(三井デュポン・フロケミカル社有地)	1.3m → 1.7m
11				
12				
13	H28 完成		駿河区中島地内(大浜荘内)	0.5m → 安政(基準水位なし)
14			清水区三保地内	0.4m → 0.4m
15			清水区三保地内	1.1m → 1.1m
16			清水区三保地内	0.6m → 0.8m
17	H29 完成		駿河区右部地内	0.9m → 1.1m
18			駿河区用宗二丁目地内	1.2m → 1.4m
19	H30 建設中		駿河区広野五丁目地内	1.4m → 1.7m
20			清水区三保地内	1.4m → 1.4m
21			駿河区用宗一丁目地内	0.8m → 1.0m
22			清水区宮加三地内	0.8m → 1.2m
23	H31		駿河区西島地内	1.3m → 1.5m
24			駿河区用宗三丁目地内	0.3m → 0.4m
25			清水区袖師町地内	3.1m → 3.2m



5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

【新規】

由比漁港津波避難施設整備事業

経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (2/3)	市債	その他	
当初予算額	5,400	3,600	1,300		500
前年度予算額					

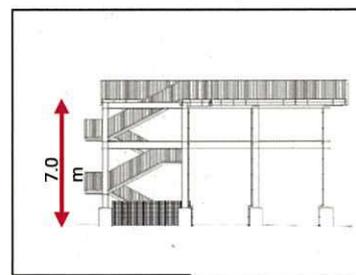
目的	由比漁港区域内における津波避難困難エリアを解消するため、漁港内にレベル2地震に対応した津波避難施設を整備し、安心・安全な就業環境を確保する。
----	--



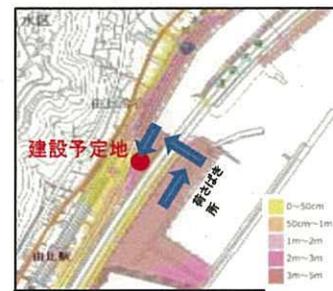
事業概要	<p>1 事業期間 平成31（2019）年度～2020年度</p> <p>2 事業箇所 由比漁港</p> <p>3 整備内容 由比漁港津波避難施設整備</p> <p>4 事業内容 ○平成31（2019）年度 設計業務、地質調査業務 ○2020年度 施設設置工事</p>
------	--



(位置図)



避難施設イメージ図



整備後 避難方向

5 防災都市 ① 災害対応力の強化と危機管理体制の確立

要緊急安全確認大規模建築物耐震事業費助成

都市局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	75,641	37,820			37,821
前年度予算額	21,406	10,703			10,703

目的	耐震改修促進法により、耐震診断が義務付けられた多数の者が利用する大規模建築物の所有者に耐震診断、補強計画及び耐震補強工事に係る費用の一部を支援することにより、民間建築物の耐震化を促進し、南海トラフ巨大地震等発生時における人的、物的被害の減少を図る。
----	--



事業概要	<p>○要緊急安全確認大規模建築物(※)の所有者に対し、耐震補強工事にかかる費用の一部を助成する。 75,641千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助率(診断) 工事費用と基準額(単価×面積)を比較して少ない額の5/6 (計画) 工事費用と基準額(単価×面積)を比較して少ない額の2/3(上限額4,110千円) (工事) 工事費用と基準額(50,300千円/m²×面積)を比較して少ない額の23%の2/3 <p>※要緊急安全確認大規模建築物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時に重要な機能を果たす建物 ・不特定多数の者に危険が及ぶおそれのある建築物 ・原則3階以上、5,000m²以上の建築物
------	--

対象建築物	
【耐震診断の義務化・耐震診断結果の公表】	
要緊急安全確認大規模建築物	<p>病院、店舗、旅館等の不特定多数の者が利用する建築物および学校、老人ホーム等の避難弱者が利用する建築物のうち大規模なもの(次ページの表をご覧ください。)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>幼稚園・保育園</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>小・中学校</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>老人ホーム</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>ホテル・旅館</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>美術館・図書館など</p>  </div> </div>
	<p>火薬類、石油類その他危険物を、一定量以上貯蔵または処理している大規模な貯蔵場等</p>

5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

【拡充】

建物の耐震化事業費助成

都市局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2、3/8ほか)	市債	その他	
当初予算額	268,838	225,404			43,434
前年度予算額	145,020	105,945			39,075

目的	民間が行う住宅、建築物の耐震対策を支援し、南海トラフ巨大地震等発生時における人的、物的被害の減少を図る。
----	--



事業概要	<p>【木造住宅耐震補強事業費助成】</p> <p>1 わが家の専門家診断事業（耐震診断） 23,160千円 ○昭和56年5月末以前に建築された木造住宅を対象に、無料で耐震診断を行うため専門家を派遣する。</p> <p>2 木造住宅耐震補強事業（補強計画・補強工事） 拡充 230,000千円 ○昭和56年5月末以前に建築された木造住宅を対象に、補強計画及び耐震補強工事を実施する所有者に対し、費用の一部を助成する。 ・補助率 … 補強計画と補強工事の工事費用の8/10 (上限1,000千円)</p>
	<p>【特定建築物耐震事業費助成】 15,678千円 ○特定建築物（※）の所有者に対し、耐震診断、補強計画及び耐震補強工事にかかる費用の一部を助成する。 ・補助率（診断） 工事費用と基準額（単価×面積）を比較して少ない額の2/3 (計画) 工事費用と基準額（単価×面積）を比較して少ない額の2/3（上限額4,110千円） (工事) 工事費用と基準額（50,300千円/m²×面積）を比較して少ない額の23%の2/3</p> <p>※特定建築物 ・災害時に重要な機能を果たす建物 ・多数の者に危険が及ぶおそれのある建築物 ・原則3階以上、1,000m²以上の建築物</p>



補強前



補強中



補強後

5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

【拡充】

ブロック塀等耐震改修事業費助成

都市局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	23,225	11,612			11,613
前年度予算額	6,235	3,117			3,118

目的	地震による倒壊、転倒の危険性のあるブロック塀等の耐震対策を支援し、倒壊等による被害を防止し、公共の安全を確保する。
----	---



事業概要	<p>避難路沿いのブロック塀等(※)の撤去及び緊急輸送路等沿いのブロック塀等の改善にかかる費用の一部を助成する。</p> <p>1 撤去 拡充 22,100千円 ○倒壊や転倒の危険性のある避難路沿いのブロック塀等の撤去にかかる費用の一部を助成する。 ・補助率… 工事費用と基準額(20,000円/m)を比較して少ない額の2/3(上限100千円)</p> <p>2 改善 1,125千円 ○緊急輸送路等沿いに撤去後に安全な構造の塀等の新設にかかる費用の一部を助成する。 ・補助率… 工事費用と基準額(38,400円/m)を比較して少ない額の2/3(上限250千円)</p> <p>※ブロック塀等 補強コンクリートブロック造を含む組積造の塀</p>
------	--



【改善前】



【改善後(撤去・改善)】

5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

橋りょう整備事業（道路橋の耐震補強及び老朽化対策）

建設局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (5.5/10、1/2、3.4/10)	市債	その他	
当初予算額	2,614,100	1,172,200	1,176,800		265,100
前年度予算額	1,739,650	660,450	950,800		128,400

目的	大規模災害に対し橋桁の落下などの倒壊が起こらないよう、緊急輸送路や孤立集落対策路線を中心に耐震補強を実施するとともに、点検で確認された損傷を早期に補修することで、道路橋の長寿命化を図る。
----	---



事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 道路橋耐震補強事業 935,940千円 ○橋脚をコンクリート等により巻立てて補強 ○地震時に橋桁が落下しないよう落橋防止装置を設置 ほか 2 道路橋老朽化対策事業等 1,488,160千円 ○腐食鋼部材塗替えによる長寿命化 ○コンクリート部分の断面補修による長寿命化 ほか 3 道路橋点検 190,000千円 ○5年ごとの法定点検の実施 <p>主な整備予定箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ○(国)362号(安西橋) ○(県)入江富士見線(桜橋) ほか
------	---

1 耐震補強事業(橋脚巻立て)



2 老朽化対策事業(鋼桁塗替え)



5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

河川構造物耐震・津波対策事業

建設局

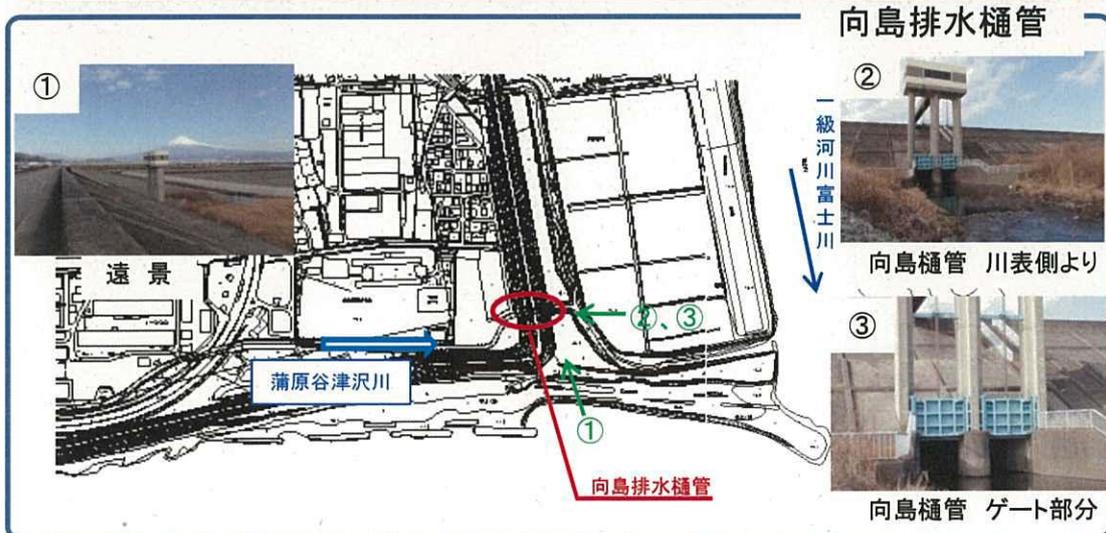
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2、3、4/10)	市債	その他	
当初予算額	90,000	16,500	67,500		6,000
前年度予算額	90,000	49,500	40,500		

目的	市が管理している重要な河川構造物の耐震化・津波対策を進め、地震、津波に対する被害軽減を図る
----	---

事業概要	1 (二) 浜川浜川水門の水門補強工及び嵩上げ工 (駿河区西島) 30,000千円 2 向島排水樋管の耐震補強 (清水区蒲原) 60,000千円
------	---

【事業実施予定箇所図】



5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

消防団員確保対策事業 消防局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	2,459				2,459
前年度予算額	2,459				2,459

目的	地域防災の中核を担う消防団員の入団促進を行うことにより、消防団員を確保し、地域防災力の充実強化を図る。
----	---



事業概要	<p>本市において、消防団員の確保は喫緊の課題であり、これまでの実施事業の更なる浸透及び発展と併せ、新たな入団促進対策として、機能別団員制度導入に向けた調整を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 機能別団員制度導入に向けた調整 2 広報活動の強化 <ul style="list-style-type: none"> ○消防団のイメージアップのため、カラーガード隊の地域に密着したイベントへの出演 【出演予定】1月消防出初式 ほか年間13回を予定 ○消防団活動の情報発信のため、静岡市消防団公式Facebookの活用 【発信内容】消防団活動・消防防災の啓発に関する情報など 3 制度の周知 <ul style="list-style-type: none"> ○学生消防団活動認証制度の周知のため、学校及び商工会議所への説明会の実施 【説明会】4～5月…商工会議所 10～11月…大学・専門学校 ○消防団協力事業所表示制度の周知のため、商工会議所への説明会の実施 【説明会】4～5月…商工会議所
------	--

【カラーガード隊による広報活動】

【学生団員による大学説明会】



【平成30年11月 大学学園祭】



【平成30年1月 消防出初式】



【平成30年11月 大学学園祭】

5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

消防団施設整備事業

消防局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	172,088		167,800		4,288
前年度予算額	120,250		110,800		9,450

目的	静岡市消防団施設整備計画に基づき消防団施設を建替え、地域防災力の充実強化を図る。
----	--



事業概要	<p>○消防団庁舎建設事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡第25分団（広野） 建設・解体工事 ・静岡第31分団（谷田） 建設・解体工事 ・清水第19分団（河内） 建設・解体工事 ・静岡第27分団（牧ヶ谷） 設計・地質調査・測量・用地取得 ・清水第16分団（承元寺町） 設計・地質調査・測量・用地取得 ・清水第16分団（興津本町） 設計・地質調査
------	---



静岡第25分団(広野)



静岡第31分団(谷田)



清水第19分団(河内)



静岡第27分団(牧ヶ谷)



清水第16分団(承元寺町)



清水第16分団(興津本町)

5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

【拡充】

防災マップ・洪水ハザードマップ作成事業

総務局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2、1/3)	市債	その他	
当初予算額	22,340	9,100			13,240
前年度予算額	7,515				7,515

目的	洪水による浸水が想定される区域や、地震、津波、土砂災害などの被害が想定される箇所を示すとともに、指定避難所やその他必要な防災情報を示すことで、防災意識の向上及び人的・物的被害の軽減を図る。
----	--



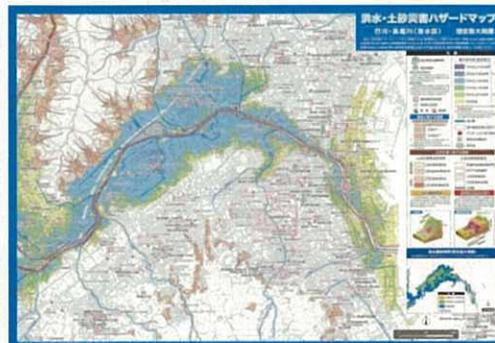
事業概要	洪水ハザードマップの作成、配布 13,040千円
	<p>○実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象河川：丸子川、興津川、庵原川、山切川 新規 ・ハザードマップ配布時期：平成32(2020)年1月～(予定) ・配布対象：浸水が想定される区域及び周辺住民等 ・作成部数：69,000部
	静岡市防災マップの作成、配布 拡充 9,300千円
	<p>○実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災マップ配布時期：平成32(2020)年3月～(予定) ・配布対象：出前講座参加者及び新規転入者等 ・作成部数：40,000部

洪水ハザードマップ

【掲載内容】

- ・対象河川とその流域に発生する洪水による浸水被害が想定される箇所
- ・最大浸水深(想定最大)
- ・風水害緊急避難場所や指定避難所等
- ・土砂災害に関する情報

- ・A1版1枚のため、広範囲の浸水想定区域を確認することが出来ます。



静岡市防災マップ

【掲載内容】

- ・地震、津波、土砂災害などの被害が想定される箇所
- ・指定緊急避難場所や指定避難所、津波避難施設等
- ・その他必要な防災情報

- ・新規転入者にも配布することで、地域特性の把握や防災意識の向上を図ります。
- ・市内全域の地図が冊子になっています。

5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

【新規】

緊急情報防災ラジオ普及促進事業

総務局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/3)	市債	その他	
当初予算額	81,000	20,000		20,007	40,993
前年度予算額					

目的	コミュニティFM放送局と連携し、全国瞬時警報システム（J-ALERT）による地震、津波や気象警報などの緊急情報を伝えるため、専用の「緊急情報防災ラジオ」を導入し情報伝達の多重化と強化を図る。
----	---

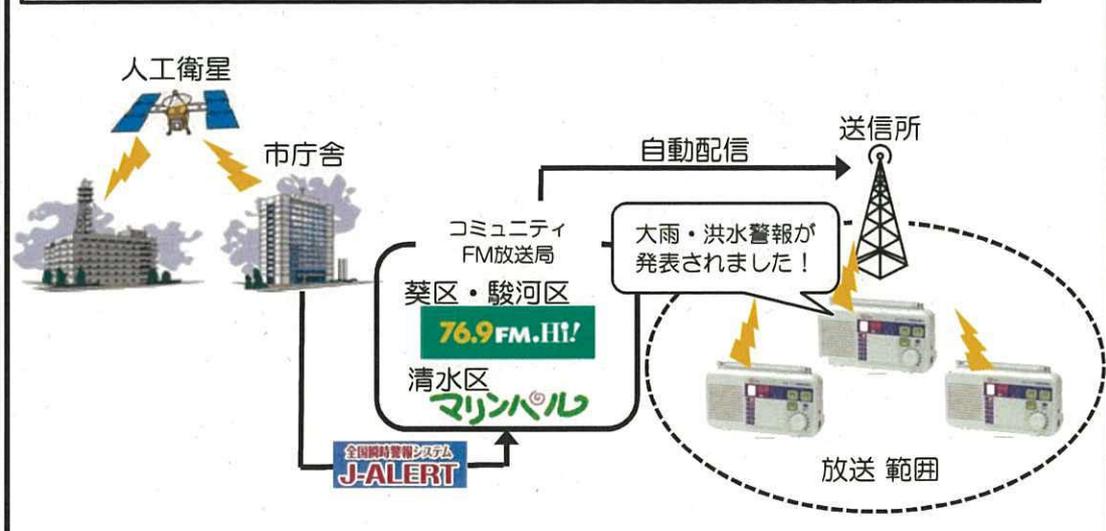


事業概要	<p>緊急情報防災ラジオの製造、販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラジオ販売時期：平成31（2019）年10月～（予定） ・販売価格：1台 2,000円（予定） ・製造台数：10,000台
------	---

緊急情報防災ラジオとは

全国瞬時警報システム（Jアラート）で配信される地震、津波、大雨・洪水警報などの緊急情報をコミュニティFM放送局（FM・Hi！（エフエムハイ）、マリンパル）の放送を使用し、市民の皆さんにお知らせするラジオです。

Jアラートとの自動連動により迅速に緊急情報をお知らせします！



5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

【新規】

防災情報共有システム整備事業

総務局

(千円)

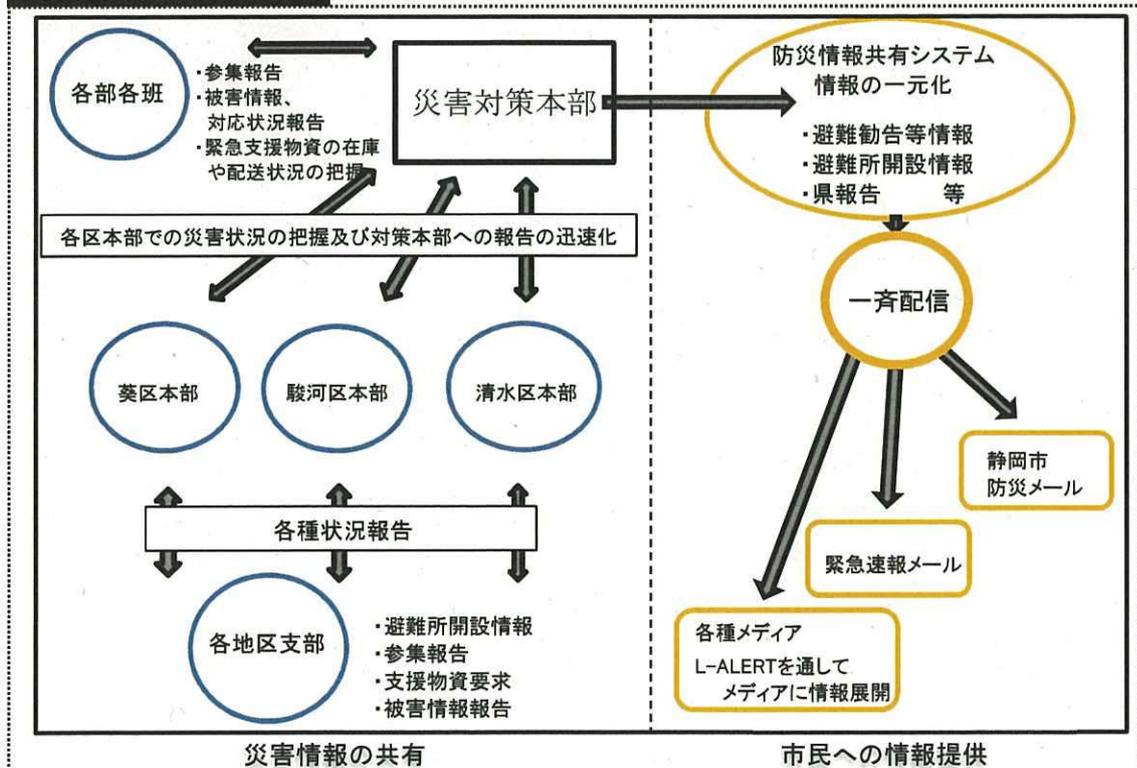
	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	(48,000)		(48,000)		(0)
前年度予算額					

※債務負担行為

目的	市災害対策本部、各区災害対策本部及び各地区支部に防災情報共有システムを整備し、防災情報を一元的に管理共有することで、災害対応を迅速的確に行う。
----	---

事業概要	<p>市災害対策本部、各区災害対策本部及び各地区支部の間の報告や情報の共有をシステムにより行うとともに、これまで避難勧告等の発表や緊急速報メールの配信など、個別に実施してきた市民等への災害情報の提供を一元的に実施する。</p> <p>開発期間：平成31（2019）～平成32（2020）年度 ○平成33（2021）年度より運用開始予定</p>
------	--

防災情報共有システム



3 中枢都市 ③戦略産業への支援・育成

道路ネットワークの整備

建設局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/3, 1/2, 5.5/10, 3.4/10)	市債	その他	
当初予算額	3,727,900	1,144,500	2,576,900	0	6,500
前年度予算額	3,460,240	1,402,240	2,042,200	0	15,800

目的	新東名高速道路、中部横断自動車道、(国)1号静岡バイパス、清水港などと連携した道路ネットワークを構築し、産業や観光を活性化するとともに、市内の緊急輸送路等の防災機能を向上させる。
----	---

事業概要	1 港湾、ICアクセス道路整備 1,606,000千円 ○(国)150号(静岡バイパス、久能拡幅) ○(主)井川湖御幸線(下～松富上組) ○(主)清水富士宮線(庵原～伊佐布) ○(主)山脇大谷線(小鹿～宮川) ○(都)静岡駅賤機線
	2 (国)1号静岡バイパスの整備促進 2,115,000千円 (国直轄道路事業負担金) ○(国)1号静岡バイパス清水立体事業
	3 地域高規格道路(静岡南北道路)調査検討 6,900千円
	※ 上記以外の国県道・市道の整備 5,716,824千円(事業費に含まない)

【道路ネットワークの構築】

① 新東名高速道路及び中部横断自動車道とのアクセス

- ◆(主)井川湖御幸線(下～松富上組)
新静岡IC～静岡市街地の現道拡幅(現状2車線⇒4車線)
- ◆(主)清水富士宮線(庵原～伊佐布)
清水いはらIC～(国)1号静岡バイパス間のバイパス整備

② (国)1号静岡バイパスの立体化

清水区横砂東町～八坂西町を結ぶ延長2.4kmの高架化

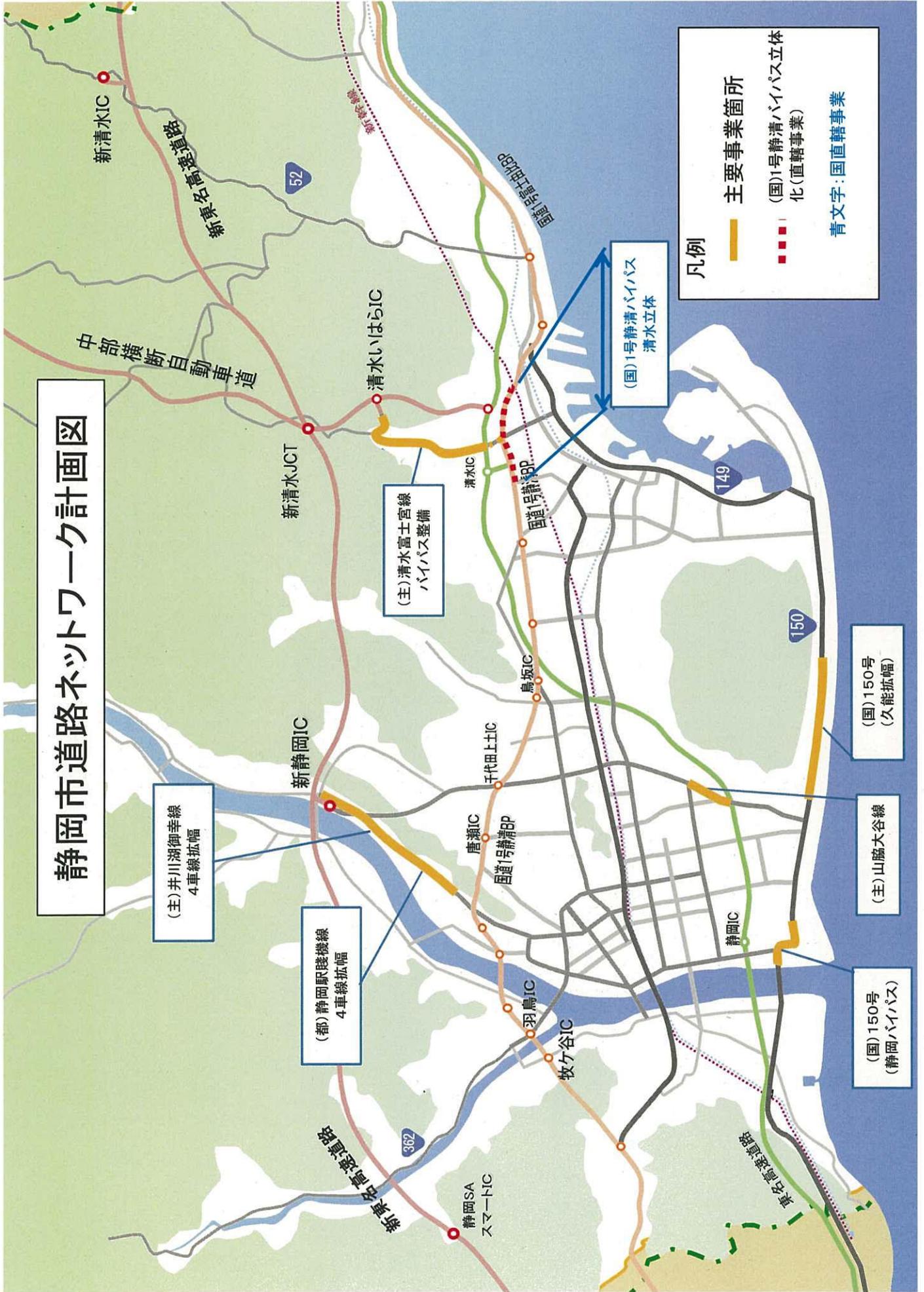


(国)150号(久能拡幅)



(主)清水富士宮線(庵原～伊佐布)

静岡市道路ネットワーク計画図



5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

狭あい道路拡幅整備事業

都市局

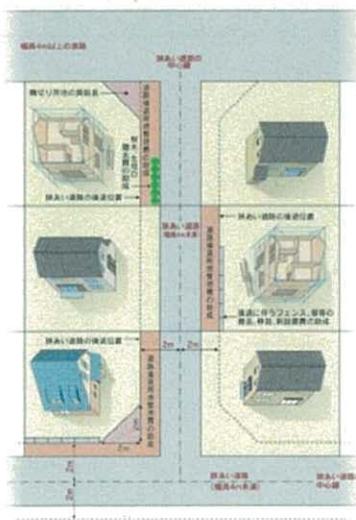
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	87,159	43,579			43,580
前年度予算額	80,000	40,000			40,000

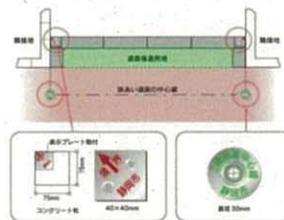
目的	<p>【狭あい道路拡幅整備事業】狭あい道路の拡幅整備を推進することにより、ゆとりある生活環境の確保と市民が安心して暮らせる災害に強いまちづくりを目指す。</p> <p>【指定道路台帳整備事業】道路に関する情報の適正な管理を図り、閲覧に供することにより、建築に係る業務の円滑化を図る。</p>
----	---



事業概要	<p>1 狭あい道路拡幅整備事業 72,149千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○補助対象となる道路に面する敷地において、拡幅事業を実施し、その道路拡幅用地を市に寄付する者に対し、助成金及び奨励金を交付する。 ○予定件数 <ul style="list-style-type: none"> ・境界確定のための測量等委託 41件 ・ブロック塀等の撤去費用等助成 42件 ・道路拡幅用地の舗装修繕 45件 <p>2 指定道路台帳整備事業 15,010千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○建築基準法に規定する各種道路の指定又は判定等の業務により作成された道路情報を適正に管理し、窓口業務での閲覧等に活用する。 ○インターネットによる道路情報の公開と指定道路図情報システムのデータの更新及び精査作業する。
------	---



狭あい道路拡幅整備事業略図



寄付地の修繕概要



インターネット公開



狭あい道路拡幅整備事業
実施前



狭あい道路拡幅整備事業
実施後

5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

道路自然災害防除事業（道路トンネル補修及び法^{のりめん}対策事業） 建設局

（千円）

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (5.5/10、1/2、3.4/10)	市債	その他	
当初予算額	989,860	405,930	347,900	37,325	198,705
前年度予算額	864,490	317,620	285,600	41,300	221,170

目的	緊急輸送路等の老朽化したトンネルの補修や、自然災害に備えた法 ^{のりめん} 対策等を実施し、安全で安心な道路環境を確保する。
----	---



事業概要	<p>1 道路トンネル補修事業 415,000千円 ○耐用年数を超過し、早急に更新が必要なトンネル設備の更新工事を実施。 ・（国）150号（新日本坂トンネル）ほか</p> <p>2 道路法^{のりめん}対策事業 574,860千円 ○道路防災点検等によって緊急・早期に対策が必要とされた法^{のりめん}の対策設計・工事を進める。 ・（主）南アルプス公園線（葵区口坂本） ・茂野島高山2号線（清水区茂野島）ほか</p>
------	--

1 道路トンネル補修事業



2 道路法^{のりめん}対策事業



（主）南アルプス公園線（葵区口坂本）
過去の降雨等の影響により発生した変状の拡大を防止するため、法^{のりめん}対策を実施する。



茂野島高山2号線（清水区茂野島）
降雨等による落石を未然に防止するため、法^{のりめん}対策を実施する。

5防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

◎は新規事業、○は拡充事業、☆は臨時的事業

(単位:千円)

新規重点プロジェクト	課名	施策・事業 (款-項-目)	予 算 額 ()内は、 前年度予算額	内 容 等
5① 5②	危機管理課	○ 防災対策推進事業 (9-1-5)	137,707 (41,844)	(事業内容) 災害対策に係る一般事務 ◎・緊急情報防災ラジオ普及促進事業 ◎・丸子川他3河川洪水ハザードマップ作成事業 ○・防災マップ更新事業 ・津波避難誘導設備設置事業 ほか 【特定財源】 国庫補助金(1/2) 6,000 県補助金(1/2,1/3) 25,078 県委託金 840 財産収入 20,000 諸収入 866
5①	危機管理課	防災施設等整備事業 (9-1-5)	84,400 (0)	(事業内容) 高台や津波避難ビルが近隣にない津波避難困難区域における津波避難施設(津波避難タワー)の整備 ・整備箇所 1か所(駿河区西島) ・収容人数 540人(床面積270m) 【特定財源】 国庫補助金(2/3) 56,266 県補助金(1/18) 4,688 市債 21,100
5①	水産漁港課	○ 漁港・海岸維持工事事業 (6-3-3)	30,953 (25,053)	(事業内容) 漁港、海岸保全施設等の維持管理及び修繕工事 ○・用宗漁港海岸養浜事業 ・用宗漁港海岸整地 ◎・由比漁港津波避難施設設置業務 【特定財源】 国庫補助金(2/3) 3,600 市債 1,300
5①	建築指導課	要緊急安全確認大規模建築物耐震事業費助成 (8-5-3)	75,641 (21,406)	(事業内容) 昭和56年5月末以前に建築された、要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断、補強計画、補強工事の費用に対する助成 ・予定件数 補強工事 2件 ※「要緊急安全確認大規模建築物」とは、不特定多数の者に危険が及ぶおそれのある、原則3階以上かつ5,000㎡以上の建築物 【特定財源】 国庫補助金(1/2) 37,820
5①	建築指導課	特定建築物耐震事業費助成 (8-5-3)	15,678 (26,360)	(事業内容) 昭和56年5月末以前に建築された、特定建築物の耐震診断、補強計画、補強工事の費用に対する助成 ・予定件数 耐震診断 1件 補強計画 2件 補強工事 1件 ※「特定建築物」とは、多数の者に危険が及ぶおそれのある、原則3階以上かつ1,000㎡以上の建築物 【特定財源】 国庫補助金(1/2) 7,839

◎は新規事業、○は拡充事業、☆は臨時的事業

(単位:千円)

新規重点プロジェクト	課名	施策・事業 (款-項-目)	予算額 ()内は、 前年度予算額	内容等
5①	建築指導課	○ ブロック塀等耐震改修事業費助成 (8-5-3)	23,225 (6,235)	(事業内容) 避難路沿いのブロック塀等の撤去及び緊急輸送路等沿いのブロック塀等の改善にかかる費用に対する助成 ・予定件数 撤去260件 改善 5件 【特定財源】 国庫補助金(1/2) 11,612
5①	道路保全課	橋りょう整備事業 (8-2-5)	2,614,100 (1,739,650)	(事業内容) 国県道及び市道における橋りょうの耐震補強及び補修事業 ・(国)362号(安西橋) ・(県)入江富士見線(桜橋) ほか 【特定財源】 国庫補助金(5.5/10、1/2) 1,144,600 県補助金(3.4/10) 27,600 市債 1,1768,00
5①	河川課	河川構造物耐震・津波対策事業 (河川改修事業) (8-3-1)	90,000 (90,000)	(事業内容) 重要な河川構造物における耐震化及び津波対策 ・二級河川浜川水門耐震補強工事 1基(嵩上げ工ほか) ・向島排水樋管耐震補強工事 耐震補強工 【特定財源】 国庫補助金(1/2) 15,000 県補助金(3.4/10) 1,500 市債 67,500
5①	警防課	消防団員確保対策事業 (非常備消防管理運営事業) (9-1-2)	2,459 (2,459)	(事業内容) 消防団員確保対策事業の更なる浸透・発展及び機能別団員制度導入に向けた調整 ・機能別団員制度導入に向けた調整 ・広報活動の強化 消防団のイメージアップのため、カラーガード隊の地域に密着したイベントへの出演 静岡市消防団公式Facebookの活用 ・制度の周知 学生消防団活動認証制度及び消防団協力事業所表示制度の周知のため、商工会議所及び学校への説明会の実施
5①	財産管理課 救急課	消防自動車等整備事業 (常備消防装備整備事業) (非常備消防装備整備事業) (9-1-3)	428,200 (742,977)	消防自動車等の更新 1 常備消防自動車等の更新 ・水槽付消防ポンプ自動車(I-B型) 1台 ・消防ポンプ自動車(CD-I型) 3台 ・高規格救急自動車 1台 ・高規格救急自動車資器材 1式 ・照明電源車 1台 ・指揮車 4台 ・指揮連絡者 1台 ・連絡車 1台 ・原動機付自転車 4台 2 非常備消防自動車等の更新 ・消防ポンプ自動車(CD-I型) 4台 ・小型動力ポンプ積載車 6台 ・小型動力ポンプ(B-3級) 6台 【特定財源】 県補助金(定額、1/3) 30,386 諸収入 125,240 市債 263,300

◎は新規事業、○は拡充事業、☆は臨時的事業

(単位:千円)

新規重点プロジェクト	課名	施策・事業 (款-項-目)	予 算 額 ()内は、 前年度予算額	内 容 等
5①	財産 管理課	消防団施設整備事業 (9-1-3)	172,088 (120,250) (120,250)	(事業内容) 分団本部・支部庁舎の建設 ・静岡第25分団(駿河区広野) 建設、解体工事 ・静岡第31分団(駿河区谷田) 建設、解体工事 ・清水第19分団(清水区河内) 建設、解体工事 ・清水第16分団(清水区承元寺町) 測量、地質調査、設計、用地取得 ・清水第16分団(清水区興津本町) 地質調査、設計 ・静岡第27分団(葵区牧ヶ谷) 測量、地質調査、設計、用地取得 【特定財源】市債 167,800
1① 1③ 2① 3③ 4③ 5① 6②	道路 計画課	道路新設改良事業 (8-2-3)	6,970,389 (8,098,932)	(事業内容) 道路新設改良事業 ・(国)150号(静岡バイパス、久能拡幅) ・(主)井川湖御幸線(下～松富上組) ・(主)清水富士宮線(庵原～伊佐布) ・(主)山脇大谷線(小鹿～宮川) ・(県)三ツ峰落合線 ・羽衣海岸線 ・城内1号線 ・JR草薙駅北口周辺交通環境改善事業 ・道の駅整備事業 ほか 【特定財源】国庫補助金(5.5/10)、 1,244,280 1/2、4/10、1/3) 県補助金(3.4/10) 68,550 諸収入 21 市債 5,302,000
3③	道路 計画課	国直轄道路事業負担金 (8-2-3)	2,475,000 (2,025,133)	(事業内容) 国直轄道路事業に対する市の負担金 ・(国)1号 ・(国)52号 【特定財源】県補助金(3.4/10) 211,500 市債 2,252,500

◎は新規事業、○は拡充事業、☆は臨時的事業

(単位:千円)

新規重点プロジェクト	課名	施策・事業 (款-項-目)	予算額 ()内は、 前年度予算額	内容等
5①	建築 指導課	狭あい道路拡幅整備事業 (8-5-9)	87,159 (80,000)	(事業内容) 狭あい道路(4m未満の道路)の拡幅整備及び指定道路 図管理システム運用経費 ・予定件数 境界確定のための測量等委託 41件 ブロック塀等の撤去費用等助成 42件 道路拡幅用地の舗装修繕 45件 【特定財源】 国庫補助金(1/2) 43,579
5① 6②	道路 保全課	道路自然災害防除事業 (8-2-2)	989,860 (889,490)	(事業内容) 国県道及び市道における道路法対策及びトンネル 対策 ・(国)150号(新日本坂トンネル) ・(主)南アルプス公園線(葵区口坂本) ・(県)三ツ峰落合線(葵区落合) ほか 【特定財源】 負担金 3,7325 国庫補助金(5.5/10、1/2) 397,830 県補助金(3.4/10) 8,100 市債 347,900
4③ 5①	道路 保全課	交通安全施設整備事業 (8-2-4)	1,385,550 (2,130,600)	(事業内容) 国県道及び市道における歩行空間、自転車道の整備 ・自転車走行空間の整備 ・道路案内標識など交通安全施設の整備 ・無電柱化の整備 【特定財源】 交通安全対策特別交付金 360,000 国庫補助金(5.5/10,1/2) 496,000 諸収入 16 市債 398,900
5①	危機 管理課	感震ブレーカー設置助成 (9-1-5)	20,000 (30,000)	(事業内容) 地震発生時の通電火災を防止するため、電力供給を 遮断する感震ブレーカーの設置費に対する助成 ・補助金額 既存住宅:設置費用の2/3 (上限額2万5千円) 新築住宅:一律1万円 【特定財源】 県補助金(1/3) 6,666

企業会計	下水道事業会計(資本的収支)					
	収入			支出		
上下水道局 下水道部	科目	H31予算額	H30予算額	科目	H31予算額	H30予算額
	1 企業債	11,276,600	10,543,600	1 建設改良費	11,597,950	11,002,950
	2 出資金	726,000	753,100	① 下水道整備費	11,527,229	10,935,018
	3 国庫(県)支出金	2,705,257	2,917,424	② 受益者負担金 徴収費	58,005	51,004
	4 他会計支出金	0	324	③ 器具機械費	4,846	7,188
	5 負担金	154,143	96,552	④ リース資産購入費	7,870	9,740
				2 企業債償還金	10,815,000	10,798,000
				3 受益者負担金返還金	50	50
				4 その他固定負債返済	92,000	99,000
				5 予備費	1,000	1,000
	合計	14,862,000	14,311,000	合計	22,506,000	21,901,000
主な事業の内容						
【収入】						
	1 企業債				11,276,600	
	下水道事業債、資本費平準化債					
	2 出資金				726,000	
	一般会計繰入金					
	下水道事業債(特例措置分)の償還に要する経費 ほか					
	3 国庫(県)支出金				2,705,257	
	国庫補助金					
	補助率 1/2、5.5/10					
	5 負担金				154,143	
	受益者負担金					
【重点プロジェクト】						
【支出】						
	1 建設改良費				11,597,950	
	重要な管・施設の地震対策			2,201,120		【5①】
	(下水道施設の耐震化)					
	高松処理区 ほか		4,500m			
	清水南部浄化センター ほか					
	浸水対策			4,534,285		【5②】
	(雨水ポンプ場などの整備)					
	広野、入江地区 ほか		1,930m			
	高橋雨水ポンプ場整備事業 ほか					
	管・施設の老朽化対策			2,446,140		
	(下水道施設の改築・更新)					
	高松処理区 ほか		1,500m			
	水環境の保護・改善			1,773,078		
	(下水道事業計画区域内の整備)					
	服織、大谷、鳥坂地区 ほか		5,562m			
	2 企業債償還金				10,815,000	
	4 その他固定負債返済				92,000	